

# 令和4年度事業報告

## 概 要

ロシアのウクライナ侵攻長期化、中国のゼロコロナ政策による流通悪化、米・中対立化、等の不安要素の多い国際情勢のもと、2022年度も食料・エネルギー供給も依然不安定な状況が続いており、日本を含む多くの国々にも大きな影響が続いている。

日本国内においても新型コロナウイルス感染が第7波、8波と繰り返され、原料、エネルギー不足と、円安ドル高が進んだことを原因とする、様々な商品の矢継ぎ早な物価の上昇は、事業所及び国民一人一人に疲弊感と焦燥、不安感のつる年になった。

健康保険組合1400組からなる健康保険組合連合会の予算編成によれば、2770億円の赤字がみこまれ、組合全体の7割が赤字であり、保険料率を上げる健康保険組合も135組にのぼり、赤字財政はまだまだ増加していく状況である。

当財団においては、東京都による「新型コロナウイルス感染症に係る宿泊療養事業」の業務支援といった特需もあったが、全般的には事業所のテレワークの定着化や都心において健診施設の開設もあり、令和4年度においても今一つ伸び悩んだ年となった。

このような変わり行く社会情勢の中で、私どもは健康、医療に関するあらゆる分野で業界を先導し続けていけるよう、常にその時節にあった様々な情報を注視、先取りし、新しい企画を発信、対処できる事業団体としてあり続ける体制をめざしていく所存である。

- I. 健康診断事業
- II. 健康指導
- III. 診療事業
- IV. 衛生思想の普及啓発（各種講習会・講演会・研究会等の開催、広報活動）
- V. コンピューターシステムの推進、施設・設備等の整備
- VI. 精度管理
- VII. 新事業
- VIII. 会議

## I. 健康診断事業

### 1. 健康診断

事業主・労働者に対し、労働安全衛生法の意義・遵守の必要性と、疫病の早期発見の重要性などについて宣伝普及に努め、各種健康診断の実施と健診結果の活用を訴えた。特に健康診断受診率の向上と、生活習慣病予防のための健康診断導入を勧奨した。

定期健診は、昨年を若干下回る結果となったが、雇い入れ時健診と生活習慣病健診は前年度よ

り上向きの傾向が各社に見受けられ始めた。また、航空健診では新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」になるのを踏まえパイロットの養成・増員を図っており、霞が関ビル診療所において増収となった。

年度別受診者推移(施設健診)

(単位:人)

健診種別	令和4年度	令和3年度	令和2年度
定期	16,700	16,729	16,316
生活習慣病	15,863	15,087	15,231
主婦(ファミリー含)	18	26	19
雇い入れ時	4,491	3,368	2,564
海外渡航時	755	622	457
V D T ・ 特殊	1,074	834	984
特定健診	139	123	127
二次検査	484	469	857
その他(単科健診)	1,874	1,756	1,808
航空身体検査	7,935	7,504	7,369
各種予防接種	3,260	3,145	3,340
合計	52,593	49,663	49,663

## 2. 中小企業巡回特殊健康診断

就労者の高齢化、業務縮小などの影響により減少となった。

年度別受診者推移(特殊健診)

(単位:人)

健診項目・内容			令和4年度	令和3年度	令和2年度
中小企業 巡回特殊 健康診断	東京	特殊健康診断	42	44	41
	茨城	振動	0	0	4
		特殊健康診断	0	6	12
合計			44	47	59

## 3. 人間ドック

健保組合・企業を対象に、疾病の早期発見・健康教育としての人間ドックの正確さ、迅速性、専門性、二次検査への連携、快適性を訴え、「選ばれるドック施設」を引き続き目指し、利用者の増加に努めてきた。しかし、コロナ禍に伴い、インバウンドによる海外からの旅行者の減少が響き、富裕層の需要が少なくなったため、スーパードック、スーパードックプレミアムが伸びなかった。

来期は男女別フロアの再開を目指し利用者に好評をいただいていた東都クリニックの女性フロアの充実とサービス向上を図るとともに受診者数を伸ばしていきたい。

年度別受診者推移(ドック)

(単位:人)

健 診 種 別	令和4年度	令和3年度	令和2年度
半 日	16,906	16,809	16,941
宿 泊	37	38	43
スーパー／プレミアム	198	236	244
脳	293	209	215
そ の 他 専 門	10	11	9
合 計	17,444	17,303	17,452

4. 検診車

公益財団法人 JKA の助成事業の一つである検診車が令和6年3月に納車予定。引き続き大規模な事業所には人間ドックなどの精密な検査は施設で行い、それ以外の健診は検診車を使った集団健診を勧め、施設健診との相乗効果を図っていく。

5. 出張健診

昨年同様、御蔵島へのお出張健診を行った。

結果好評をいただき、当財団においても協会の「5W1H6S」の理念にのってあると来年度も要望があったら引き続き継続していく所存である。

## II. 健康指導

1. 当日結果説明の充実

継続して東都クリニック及び霞が関ビル診療所において実施している人間ドック受診時の医師による当日検査結果説明は、受診者・契約先におおむね好評であった。また、併せて実施を行っている保健師による保健指導や健康教育も受診者の健康意識の向上やリピーターの増加に大きく寄与している。

2. 保健指導室の活動

特定保健指導においては、オンラインでの指導体制を整え、利用者の利便性の向上を行い、利用促進に向けた案内発送の迅速化に努めた。また、当日保健指導の実施体制の整備に取り組み、次年度以降での運用を目指している。さらに、健診・人間ドックの利用者への、再検査及び精密検査該当者の後追い調査（状況聞き取り・受診勧奨）を拡充し、令和4年度においては7,500件以上の受診報告が行われた。後追い調査においては、結果の解説や再検査・精密検査内容の説明などの実施を行った。財団施設への受診勧奨や他機関との連携を重視し、利用者の健康意識の向上と健康行動への動機付けに一定の成果をあげている。保健指導や後追い調査などをもとに、東都大学幕張ヒューマンケア学部の教員と連携し、

その成果をまとめ学術雑誌への掲載や学会発表を行い、予防医学や保健指導の更なる発展と保健指導の質の向上に取り組んでいる。

年度別受診者推移(特定保健指導) (単位:人)

種別	令和4年度	令和3年度	令和2年度
積極的支援	33	30	34
動機付け支援	53	46	31
合計	86	76	65

### 3. その他の活動

東都クリニック所属医師、管理栄養士により、一昨年度よりはじめている毎月2回開催している医師、管理栄養士による無料の糖尿病発症予防教室は、近隣の事業場や人間ドック、健診で指摘を受けた受診者に対する啓発を継続した。また人間ドック受診後の食事指導を重視し、契約レストランの協力を得て作成した食事メニューも好評であった。また、栄養科では官庁からの依頼により官庁内の職員食堂で提供されているメニューのカロリー計算を行っており、食事による健康意識の向上に役立っている。

## Ⅲ. 診療事業

1. 昨年同様、外来診療部門として医療本来の診断・治療に加え、健康診断・人間ドック等で再検査や精密検査あるいは治療が必要となった利用者のため、充実した医療体制を維持を目指した。令和4年度においては当財団がドック・健診施設が主事業の影響から大企業の会社員・家族が多くコロナ前の医療費水準に戻ってきていると思われ、診療報酬面においては増益となった。

### 2. 外来診療予約枠最終予約時間の是正

健康医学協会外来診療の医事課受付終了時刻は、公称、午前12時30分（土曜12時00分）、午後16時30分であり、勤務時間はそれぞれ13時00分、17時00分までである。近年この原則が遵守されない傾向にあり、特に午後の最終診療枠を15時30分までとし定刻前退出が常態化する診療科も認められた。

全ての外来予約枠につき、最終予約時間を本来の16時30分へ戻し、社会的責任が果たせるよう体制の是正を行い、ひいては外来売上げ向上に貢献するものと期待される。

年度別受診者推移(外来) (単位:人)

年度	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	新患者	再診	合計	新患者	再診	合計	新患者	再診	合計
霞が関	1,712	11,810	13,522	1,224	10,870	12,094	1,158	10,928	12,086
東都	1,905	25,500	27,405	1,869	25,825	27,694	1,849	24,366	26,215
粒子線	75	16	91	56	18	74	51	16	67
合計	3,692	37,326	41,018	3,149	36,713	39,862	3,058	35,310	38,368

#### IV. 衛生思想の普及啓発、各種講習会、講演会、研究会等の開催、広報活動

労働者の高齢化や生活習慣・労働環境の変化、学会・厚生労働省での論議を踏まえ、最新の労働衛生思想の普及と啓発に努めた。

##### 1. 産業保健活動

毎年財団所属の労働衛生コンサルタントおよび認定産業医により、多くの事業場において、安全衛生委員会にて職場巡視を行い衛生管理、作業管理、作業環境管理を実施している。従来からの指針「過重労働による健康障害防止のための総合対策」に基づく職場における精神衛生管理の実践として、契約産業医が事業場の衛生管理者、担当者、健康管理室等と連携し、ストレス障害の防止をはじめとする労働者の健康増進に努めた。また、ストレスチェックに関する業務を引き続き邁進していく。

##### 2. 講習会・講演会・研究会等の開催（主催）

健康医学研究会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年に引き続き Web での開催を実施した。（配信は令和4年9月5日～令和4年10月4日）

- ・その他毎月2回糖尿病発症予防教室を開催(2月迄)

##### 3. 広報活動

令和4年9月5日「健康医学」第52号発刊

##### 4. 学会発表

###### 1) 第65回 日本糖尿病学会 年次学術集会

令和4年5月11日から5月14日

会場：神戸国際会議場 ポートピアホテル

演題：「NAFLD/NASH 合併2型糖尿病患者における WeeklyDPP4 阻害薬オマリグリプチンの肝機能に対する影響の検討～脂肪肝は改善するか～」

演者：医師 服部 幸子

###### 2) 第124回 日本皮膚科学会総会

令和4年6月2日から6月5日

会場：国立京都国際会館

演題：「薬疹患者における DLST の陽性率に影響する因子の検討」

医師 竹内 瑞恵 参加

##### 5. その他の会議・協議会などへの参加

###### 1) 公益社団法人全国労働衛生団体連合会（全衛連）

令和4年度労働衛生検査精度管理調査(B) 東都・霞が関 各1名参加

令和4年度胸部X線検査精度管理調査 東都・霞が関 各1名参加

令和4年度胸部腹部検査精度管理調査	東都・霞が関	各1名参加
令和4年度腹部超音波研修会	東都	1名参加
令和4年度臨床検査精度管理調査	東都・霞が関	各1名参加
令和5年1月20. 24日		
「生理機能検査ONLINE研修会 「健診で見つかる不整脈と自動解析」」	東都・霞が関	各1名参加

## 2) その他への参加

4月9日 OZAK会 新人研修会 幕張国際研修センター 入職者5名 参加

## V. コンピューターシステムの推進、施設・設備等の整備

### コンピューターシステム

7年目を迎えた当財団人間ドック健診基幹システム「SUMMITS II」の稼働は一部システムに老朽化が出始めている。ただ細かな改良と更新により、令和4年度においても効率的運用になくてはならないものになっている。しかし、テレワーク等の普及により人間ドック・健診予約業務におけるWEB予約画面を始めとするインターネット利用は増加傾向であり、予約業務においてシステム及び専門人員の減により、鈍化傾向の問題点も浮き彫りになった。

## VI. 精度管理

検査データ・判定の正確性のために、精度管理の維持・向上を目指し、内外を問わず精度管理事業への積極的な参加と改善を行った。

### 1. 精度管理事業への参加

令和5年度全衛連総合精度管理調査の結果

- 1) 胸部エックス線検査に関する精度管理調査
  - 東都クリニック 施設評価【B】4. 2. 1
  - 霞が関ビル診療所施設評価【B】4. 2. 1
- 2) 腹部超音波検査に関する精度管理調査
  - 東都クリニック 施設評価【A】4. 3. 1
  - 霞が関ビル診療所施設評価【A】4. 3. 1
- 3) 労働衛生検査に関する精度管理調査(鉛又は有機溶剤)外注
  - 東都クリニック 施設評価【A】4. 3. 14
  - 霞が関ビル診療所施設評価【A】4. 3. 14
- 4) 臨床検査に関する精度管理調査[生化学検査(12項目)、血液学的検査(6項目)、尿検査(3項目)]
  - 東都クリニック 施設評価【A】4. 4. 7

霞が関ビル診療所施設評価【A】4. 4. 7

令和4年度日臨技臨床検査精度管理調査の結果

1) 生化学・血液学・尿検査に関する精度管理調査

東都クリニック 施設評価【A】

令和4年度日本医師会臨床検査精度管理調査の結果

1) 生化学・血液学・尿検査に関する精度管理調査

東都クリニック 施設評価【A】

## Ⅶ. 新事業

職員のインセンティブ・モチベーションの契機となり、職場における士気向上に繋がる、更には生産性向上に寄与する方策として以下の新事業を立ち上げた。

### 1. 職員自己評価制度

組織構成員として求められる各種能力についての質問シート（東大方式）への回答作業を通して、自己の優れる点劣る点についての「気づき」を介したセルフブラッシュアップを目的とする。当自己評価シートへの真摯な回答作業そのものに価値を見出すものであり、参加者へは幾許かの褒賞を授与するものである。

### 2. 専門資格取得・更新支援制度

本務に係る専門資格の新規取得あるいは維持更新のための金銭的支援を行うものである。看護科、放射線科、検査科、事務課等コメディカルからの希望を募り、計画書を「医療実務代表者会議」へ提出させ、採用・不採用を審議する。

### 3. 新事業遂行基金の立上げ

上記「職員自己評価制度」及び「専門資格取得・更新支援制度」の実施には原資が必要となる。「新事業遂行基金」を立ち上げた。

## Ⅷ. 会議

下記日程で開催した。

### 1. 定例理事会

開催日 令和4年5月26日（木）

議案	第1号議案	評議員会の開催日程及び議案(案)に関する件
	第2号議案	令和3年度 事業報告承認に関する件
	第3号議案	令和3年度 決算、監査報告(承認)に関する件 に関する件
	第4号議案	公益目的支出計画実施報告書承認の件
	第5号議案	任期満了に伴う理事及び監事の選任に関する件
	第6号議案	その他に関する件

第7号議案 代表理事及び専務理事・常務理事選任に関する件

開催日 令和5年3月16日(木)  
場所 東京都千代田区紀尾井町4-1 新紀尾井町ビル7階  
議案 第1号議案 評議員会の開催日程及び議案(案)に関する件  
第2号議案 令和5年度事業計画承認に関する件  
第3号議案 令和5年度収支計画承認に関する件  
第4号議案 その他の件

## 2. 定例評議員会

開催日 令和4年5月26日(木)  
議案 報告事項 令和3年度 事業報告承認に関する件  
第1号議案 令和3年度 決算、監査報告(承認)に関する件  
報告事項 公益目的支出計画実施報告書承認の件  
第2号議案 任期満了に伴う評議員の選任に関する件  
第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任に関する件  
第4号議案 その他に関する件

開催日 令和5年3月16日(木)  
場所 東京都千代田区紀尾井町4-1 新紀尾井町ビル7階  
議案 報告事項 令和5年度事業計画に関する件  
報告事項 令和5年度収支計画承認に関する件  
第1号議案 その他の件